

2024年度 第3回 ふれあい講座 実施報告書

実施日時	2024 年 10 月 18 日 (金) 19時～20時30分
場所	JICA沖縄 体育館
来場者数	70 人
JICA日系研修員 (出身国)	沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化コース (ブラジル) Ms.マウラ/Ms.キミコ/Mr.トミオ/Mr.ティディー/(ペルー)Ms.ニコ ウチナーネットワークを活用した持続可能なコミュニティー運営コース (ブラジル) Mr. ジョアン ジョゼ ウチナーネットワークを活用した日系レガシーの継承・普及啓発活動コース (ブラジル) Ms.サトミ 映像コンテンツ制作技術 (ペルー) Ms.ミユキ (ボリビア) Ms.ニラ
当日の様子等 特記事項	2024年度第3回ふれあい講座がJICA沖縄にて開催されました。日系メンバーを対象とする4つのコースより9名のJICA研修員(ブラジル・ペルー・ボリビア)をゲストに迎え、70名の一般参加者と交流を行いました。 初めにゲストに日本語で自己紹介をしてもらい、その後、3ヶ国語のスラング言葉に関するクイズを行いました。ブラジルとペルーのスラング言葉で「パイナップル」の意味はブラジルでは難しい問題を解く、困難を解決したという意味があり、ペルーでは「不幸なこと」という意味があるということを聞き、みなさん驚いた様子でした。南米でもスペイン語とポルトガル語で同じ意味を持つ単語や全く異なる意味をもつ単語などが数え切れないほどあるそうです。また、ボリビアの山岳地方で飼われる動物やウユニ湖に関する問題なども紹介しました。クイズを通し、日系社会について知るきっかけになり、楽しんでいる様子が印象的でした。「ふれあいタイム」では各国のブースで参加者との活発な交流が見られ、ボリビアのニラさんがボリビア産のコーヒーを用意し、一人一人に振舞い会話を楽しんでいました。ブラジルのトミオさんは流暢なウチナーグチでシニア世代と楽しく会話していました。パフォーマンスタイムでは整体師でもあるトミオさんより腰痛や肩こりに効くセルフケアの方法をデモンストレーションを用いて教えてくれました。トミオさんの冗談交じりのコミュニケーションで会場は笑いあいの和やかな「氣」が流れていました。またペルーのニコさんは元気いっぱいなダンスや「カホン」というペルーの打楽器を演奏しながら歌も披露してくれました。小柄なニコさんから予想外のダイナミックでエネルギッシュな演舞に会場からたくさんの拍手があがりました。最後は賑やかなムードに包まれてお決まりのエンディング【カチャーシー】で第3回目も盛大に終えることができました。 次回の第4回目ふれあい講座は12月13日(金)JICA沖縄 体育館にて開催予定です。ご家族やご友人とご一緒に是非、ご参加ください！



研修員さんの自己紹介（日系メンバー）後ろのスクリーンにお名前と各国の挨拶紹介

各国に関するクイズタイム～楽しい学びです



会場の様子



ふれあいタイム



スペイン語サークルの皆さん



リピーターの女性グループ

各国ブースで来場者の質問に笑顔で対応する研修員の皆さん
ウチナーグチもとてもお上手



左) 「カホン」 という打楽器を演奏してくれました ♪



トミオさんによるセルフケアストレッチ体操



カチャシーからの集合写真 楽しい時間となりました